

なるみ園自己評価結果(公表)

公表:令和2年12月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善内容又は改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			適切と思われます。活動に応じてグループに分けて行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされる数以上を配置しています。
	3	生活空間は、本人に分かりやすい構造になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		障害特性に応じ、配慮しています。バリアフリー化が充分ではありませんが今後、検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○			清潔で心地よい環境に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎日、事業終了後に児童全員のケース討議を実施し、支援内容の見直しを行っています。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年、児童発達支援ガイドラインの評価表を参考にして実施しています。また、卒園児に対する園独自のアンケート調査も行っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者様へのアンケート調査の結果を踏まえ、業務改善に向けた見直しを行っています。また、保護者向け評価表及び自己評価結果を保護者に配布、ホームページにも公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			計画的に外部研修に参加しており、それを受けて内部研修を行っています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			定期的にモニタリングやアセスメントを行い、計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツール(遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表など)を使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			児童発達支援計画には、発達支援、家族支援、地域支援に当たる項目を入れており、お子様、ご家族の支援に必要な内容を設定し支援しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			日々のお子様の状況を共有し、立案修正などを担当者会議を通して実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			お子様のその日の状況や発達特性を踏まえて、固定化しないよう工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			お子様の特性、発達評価を基に個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時、職員間で情報共有や支援内容について確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時、職員間で情報共有や支援内容について支援の振り返りを行っています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援内容の記録をとり、検証、改善につなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月ごとに、また、必要な時にモニタリングと支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、児童発達支援管理者、お子様の支援を担当する児童指導員、機能訓練専門職員が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市の保健センター、子育て総合支援センター、子育て支援課、障害福祉課や圏域の児童相談所等と情報共有や相談、報告を行い連携した支援を行っています。
	23	(重症心身障害のある子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係者と連携した支援を行っている	○		療育相談会、子育てネットワーク協議会、3歳半検診子育て相談、年中児心理相談会、幼児育成協議会、教育支援委員会、就学児童相談会等に参加して連携した支援を行っています。
	24	(重症心身障害のある子どもを支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている	○		子どもの主治医や協力医療機関(小児科)と連絡体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っている	○		個別の教育支援計画を作成して保育所、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校、特別支援学校(宇部総合支援学校・松原分校)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域のスキルアップ研修を通して助言や交流、情報収集に努めています。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○		子どもの発達状況に応じて、併行通園を行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止の為にスマイルキッズなどでの交流を自粛しました。
	29	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		業務に支障がない限り、積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日の送迎時、または、連絡帳などを利用して共通理解を図りながら支援をしています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等の支援を行っている	○		毎月、親子通園を行い、お子様への関わり方などについて伝えたり、必要に応じて支援を行っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、重要事項説明書やサービス利用契約書を通して丁寧に説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者様からの同意を得て実施しています。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時、面談や相談を受ける体制を整えており、相談があった場合は助言や支援を検討実施できるように努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			定期的に保護者のための勉強会や親睦会を行っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談や申入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、「園だより」「療育計画」を発行しています。また、定期的に活動内容やイベントのお知らせもしています。
	38	個人情報の取扱いに、充分注意している	○			個人情報保護規程を策定し、充分注意しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			子どもの特性を理解した上で、配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		法人全体での御祭は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止致しました。発達相談室を設け、地域の方からの発達相談をお受けしています。今後も更に地域交流に向けて検討します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルを策定して、職員や保護者に周知しています。また、発生を想定した訓練も実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			火災・水害・地震・津波・不審者等の非常災害に備え、定期的に訓練をしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			契約時のアセスメントシートや個別対応で健康状況を把握しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギー調査票に記入頂き、個別対応の中でアレルギーの有無などの情報把握や必要に応じて、医師の指示を仰ぐなどの配慮をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故対応マニュアルを策定して、報告等がすみやかに行われるようにしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止チェックリストを策定し、定期的に研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				法人全体の方針として、身体拘束等は禁止しています。

※ この「なるみ園自己評価結果(公表)」は、なるみ園職員全体で行った自己評価です。